

# タットン会 通信

 2009.  
12.19

タットン会ホームページ [タットン会](#) と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することも出来ます。

※ 活動中などの写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！(事務局は青バッチです)  
(11月の参加費は8,100円 寄付金は530円 計8,630円でした。ありがとうございました)

## 点字ブロックの重要性！

11月21日、盲目になりかけている友人と共に、私のメタボトレーニングと彼の体力トレーニングを兼ねて、県立ライトセンターでプールトレーニングに行ってきました。

30歳を過ぎてから「網膜色素変性症」という病気になってしまった彼は、富士山の樹海で自殺未遂までも経験しました。「死にたい！」というメールが私に届き、「自分(=私)に何が出来るのか!？」を考えてから一年半が経ちました。

しかし、県立ライトセンターの職員さん達により、生きる希望を見だし…半年近くの歩行トレーニングを行い、自宅(希望ヶ丘駅)から二俣川にあるセンターまで電車に乗り一人で行くことが可能になったのです。

「人は変わろうと思ったら…変わる！」—しかし、変わろうと思う気持ちになれたり、実際に歩き出せるようになるには～自分の力だけでは非常に難しく、多くの幅広い仲間が必要になってきます！

彼は点字ブロックを頼りに、白杖を上手に撞いていきます。しかし、その途中には…自転車が！ バイクが！ 私の前を歩く彼の姿を見守りながら…私自身もあまり気にしていなかった、自転車やバイク・車の止め方について考えさせられる貴重な時間となりました！

## 『11月28日 84回目のタットン会！』

チーフ予定であった学生が風邪のため参加出来なくなり、当日の開会寸前に西方さんが「私でよければ…」と、快くチーフを引き受けてくださいました。そんな西方さんからの感想です—

「今回のタットン会では、私は久しぶりにチーフを務めさせていただきました。何度やっても、難しいです。相変わらず、みなさんに助けていただきながらの進行でした。卓球もバドミントンもみなさんとても楽しそうでした。中でも、卓球ではかなり白熱したラリーが繰り広げられていました。またバドミントンでは初めて参加していただいたボランティアのSさんが、技術面でのアドバイスを交えながらの対応をしていらっしゃる、チャレンジャーさんはとても満足そうでした。技術の向上はスポーツの楽しみのひとつですよ！ まだまだ至らない点ばかりなのですが、ボランティアさんにもチャレンジャーさんにも、気持ちよく楽しんで参加してもらえるようなサポートが出来るようになりたいです…。」(西方美貴) (西方さんの笑顔もとっても素敵です！)

「ホームページ掲示板」にも私の感じたことを書かせていただいたのですが…

中学生になった息子も友達を誘い参加してくれました。タットン会への参加は経験豊富な彼ですが、今回は、今までに経験したことのないちょっとつらい、けれど良い体験が出来たようです。チャレンジャーさん3人(30代、20代、10代)とのプレー中、一人がその場からいなくなってしまう「どうしたらいいのかわからず、頭を抱え悩んでしまった」。そんな時、チーフの西方さんに声をかけていただき、なんとか元気を取り戻したんだとか。

その後も、一緒にプレーしていたチャレンジャーさんがプレー中に泣いていたけれど、何も出来ず辛かった…。そんな状況を体験し、**ボランティアとして、とても良い勉強をさせていただいたようです。**→ また、会場を見回るチーフの必要性も改めて感じました！

それからもう一つ、1月に初参加以来とっても久しぶり2度目の参加の親子。昨年度からボランティアさん不足のため、保護者またはそれに変わる支援者を御願ひしていますが、会場を見回っている最中、その親子が私に声をかけてくださり、少しお付き合いさせていただきました。「隙あらば逃げようとする子どもの思い」と「必死にスポーツの楽しさを教えたい保護者の願ひ」両者の気持ちがヒシヒシと私に伝わり…。その場に居合わせて、とても考えさせられ



点字ブロック上で自転車が邪魔をする！



ました。最後には親子が1:1で楽しんでいる場面を見ることが出来、安堵いたしました…。

いろいろな年齢層が集まっているタットン会。私自身楽しませていただきながらも、非常に奥深い学習の場にもなっています！皆様、これからもよろしく御願います！！

→ 掲示板でこのコメントを読んでくださった事務局（ホームページ担当）加藤さんからです。

僕が息子さんと同じ立場だったら同じことで悩んでいると思います。こういう場合はケースバイケースで対応しなければならず、どうすれば正しいという答えもないので非常に難しいですよ…。反省会の中で聞いて僕なりに色々考えてみましたけれど、結局答えは出ませんでした。

親子の件ですが僕も逃げる息子さんを必死に追いかけているお母さんの姿を何度も拝見しました。本当にお母さんの「なんとか息子にスポーツをさせて、自分の特技を作ってほしい！」という気持ちが伝わりますね。

僕の父は、僕が小1のころ当時はやりだしたばかりだったスーパーファミコンを買ってくれました。誕生日か何かだったと思うのですが、まあ、そんなにめずらしい話ではないですよ。ところが、ずっと先になってから父がボソッと saying いたのですが「テレビゲームを買ったのは、僕に何でもいから特技を持ってほしかった」ということでした。片手が使えないということでスポーツはほとんど出来ない。しかも、病気で3日元気で3日寝込むを繰り返していた僕には、なかなか趣味や特技というものが作れなかった。それを何となく感じていた父は、たかがゲームかもしれないけど自分の特技にして自信を持ってほしかったのだと思います。

その子のお母さんも僕の父と同じような思いがあるのでしょうか。『障がいがあっても自信を持って生きてほしいと願う』…それが親なのでしょうね。(加藤 誠) → (その経験が生きて、HP担当! ?有り難いです!)

皆様にも紹介させていただきましたが、神奈川県社会福祉協議会から発行されている「福祉タイムス」の表紙に、タットン会事務局～県立保健福祉大学生小野さんの顔写真とコメントが掲載されました。今回参加して下さった小野さんからのコメントです。→『いつも参加出来ているわけではないですが、私を覚えてくれている方々や、当たり前のように関わってくれる方々にホッとさせられます。』(小野達也) → (実にさわやかな笑顔なのです!)



### 感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん27名参加

- ※1 …目標の7回は出来ませんでした、時間いっぱいまでプレーすることが出来ました… (K様)
- ※2 …OさんとTさん3人で、交替しながらやりました。順番を待つことで、自分の番になったときのモチベーションも上がり、集中力も高まることもありました… (S様)
- ※3 久しぶりに対戦し、3試合完敗でした。色々なところで練習しているのでしょうか…。(N様)
- ※4 …学校でもやっているようで、スマッシュに「アマツバメ」などのネーミングもしていました… (W様)
- ※5 …落ちたシャトルを、ラケットですくう事が一回出来ました!! (O様)

## 余暇活動

### パート 42

ついこの間は高尾山に紅葉を見に行ってお団子を食べてきました。私はいろいろな所に行き、色々なものを食べたりして楽しんでいます。今回初めてタットン会に参加させていただきました。初めての参加で私は若干緊張しておりましたが皆さまの温かい雰囲気の中で楽しくプレーすることができました。特にいま、就職活動中ということもあって心に余裕を持ちにくい状態で参加した私でしたが、皆さまから温かな気持ちをいただき、練習が終わった頃には私の心も少しふくらんでくれたように思います。どうもありがとうございました。これからだんだん寒くなっていきますが、元気よくスポーツをして、風邪に負けない体づくりを続けていきたいと思います。佐藤 遥

新聞に載りました



### 本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：平野 厚  
継続・新規受付・説明：県大生・事務局  
全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー

### 《 今日 12月19日の時程 》

- 9:30 ペアになってカード確認・体操、各種目へ
- 10:20 休憩
- 10:35 後半競技～(試合又は継続回数に挑戦)
- 11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入  
(手話コーナー)・けがの確認・感想…
- 11:40頃 解散

### 《 次回 2009年度の予定 》

86回目 1/23 87回目 2/27  
88回目 3/27 いずれも、県立保健福祉大学です!

文責 佐藤一雄